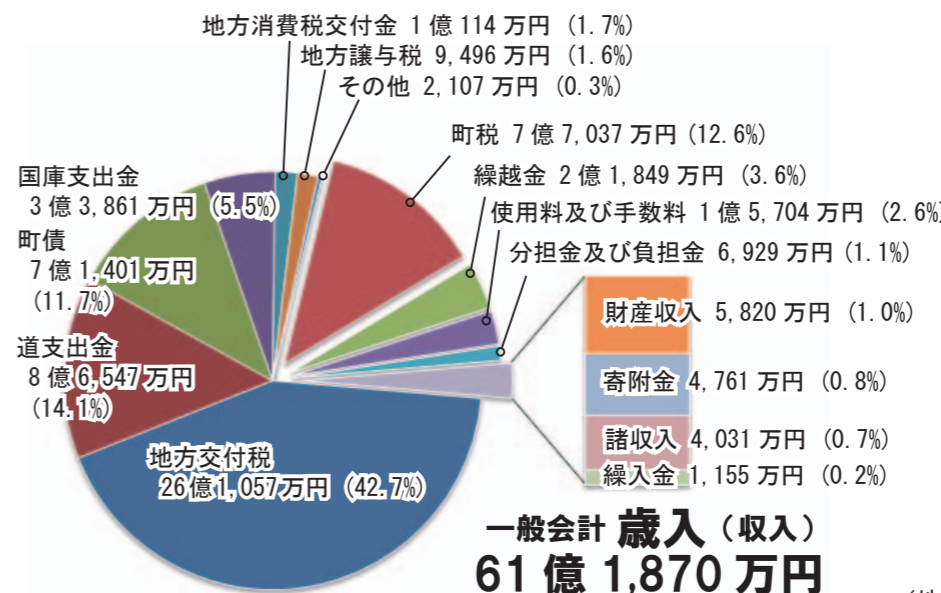


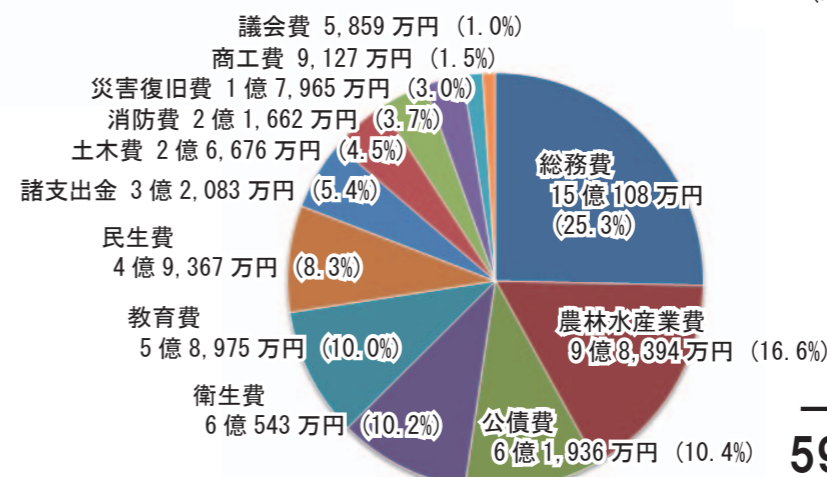
第3回定例会

・決算審査特別委員会質疑の中から



自主財源
(町税・使用料・諸収入など)
13億7,287万円

依存財源
(地方交付税・町債・国・道支出金など)
47億4,583万円



平成28年度決算状況

| 区分 | 最終予算額 | 歳入決算額 | 歳出決算額 | 収支差引 |
|--------------|------------|------------|------------|-----------|
| 一般会計 | 61億1,274万円 | 61億1,870万円 | 59億2,696万円 | 1億9,174万円 |
| 簡易水道特別会計 | 2億8,568万円 | 2億8,616万円 | 2億7,471万円 | 1,145万円 |
| 国民健康保険特別会計 | 9億5,819万円 | 9億6,472万円 | 9億5,192万円 | 1,280万円 |
| 公共下水道特別会計 | 2億1,032万円 | 2億1,034万円 | 1億9,934万円 | 1,100万円 |
| 介護保険特別会計 | 5億2,565万円 | 5億3,334万円 | 5億1,235万円 | 2,099万円 |
| 介護サービス事業特別会計 | 2億2,483万円 | 2億2,929万円 | 2億2,181万円 | 748万円 |
| 後期高齢者医療特別会計 | 8,342万円 | 8,329万円 | 8,283万円 | 46万円 |
| 合計 | 84億83万円 | 84億2,584万円 | 81億6,992万円 | 2億5,592万円 |

決算審査特別委員会委員長報告 (要旨)

平成28年度の財政運営状況は、雇用、所得に改善が見られるものの、地方経済はいまだ厳しい状況にあります。

本町主体のまちづくりを展開していくため、補助制度の積極的な活用と有利な起債による財源確保など、健全な財政運営を進めています。

徴収対策については、今後も適切な徴収事務による滞納解消に一層の努力を求めます。

歳出では、補助金など財源確保に努め、経費削減を図るとともに、第1次産業の基盤整備などを実施しています。

今後の財政運営は町民生活の安全・安心の向上や活力ある地域づくりに向け、財政基盤を確立するため限られた財源・人員の中で費用対効果の検証を行い、助成制度の活用などバランスを重視し、将来世代に過度の負担を残すことなく努めることを望みます。

決算審査特別委員会質疑の中から

民生費

問 社会福祉費の扶助費の不用品275万の内訳は、金額が大きい問題はないか。

答 扶助費の中で一番残額の大きいものとして、障害者自立支援の扶助費予算1億622万7千1百円のうち、206万9千400円が残額となっております。

毎月自立支援のサービスの請求によって支出をしているわけですが、執行率は98.7%ということ、問題は適切であると考えております。

衛生費

問 クリニックささまの評判が非常にいいと聞けが、最近の動きはどのようになっているか。

答 毎月患者数の推移を報告いただいており、28年度実績では前年度より1日当たり7.5人外来患者が伸びてい

るという報告をいただいております。

なお、今年の4月から7月の実績は1日平均64.1人で、昨年より1日当たり7.2人増加しております。昨年からは医師が2名体制になり、こういった好調な実績になっております。

シンテレア夢まつりのパレードにも、クリニックささまが団体の部として出場していただくことで、地域に密着した姿勢がそういうところから見ると思いますが、今後クリニックの運営方針を支援していきたいと思っております。

問 非常に安定し患者数も増えており、経営状況の改善もされていくという見方によるか。

答 この4カ月の患者数の推移についても、好調であった前年度をさらに上回っていますので、このまま推移をしていくと28年度の実績をもう少し改善できるという見込みで考えております。

運営状況

問 28年4月から障害者雇用法が施行され、遠紋地区での法定雇用率が低いと聞いているが、本町ではどのようになっているのか。

また、相談支援事業の委託については、現実的などのような相談があり、どう対応を

問 妊婦健診は、国の回数に対して町独自でやっているが、必ずしも予定日に生まれるわけではない。予定日を越えた場合の健診については自費になるのか、または町が助成しているのか。

答 妊婦健診の回数は、国が決めたというよりは学会などで決まっており、町はその中で助成しています。

普通は病院に通い診察をするか、または出産まで入院ということになりましたが、予定日を超えた場合、出産間近ですと入院することになりますから、定期的な健診にはならないものと思います。ですから、そこは保険での対応になると考えております。

問 町として障がい者の雇用を把握する必要があると思うが、今後の考えはあるか。

答 町が把握する必要はないと考えますが、各事業所の雇用率にかかわらず、相談支援事業所と町の担当が、斡旋の業務を行っています。

問 パークゴルフ場の芝の点検や、コースの案内板の点検などはどれくらいの頻度で行われているのか。

答 定期的な点検は行っておりません。職員が都度点検し、年度初めの準備など、パークゴルフ協会と連携をとりながら、悪いところは随時直しております。